

湘北短期大学図書館 選書基準

この選書基準は、図書管理細則第3条に規定する図書選定における適正性の確保を目的として定めるものであり、湘北短期大学図書館は、この選書基準に従い図書を収集する。

1. 基本理念

湘北短期大学図書館は、本学の教育理念である「社会でほんとうに役立つ人材を育てる」を実践するために必要となる、学生の学習活動に役立つ図書を中心とした蔵書構築を行う。

2. 収集方針

湘北短期大学図書館が主に収集対象とする図書は、以下のとおりとする。

- (1) 本学の学科構成とカリキュラムに沿った各専門分野の図書
- (2) 学生の読解力や表現力を高め、広く一般の教養を身につけるために役立つ図書
- (3) 学習方法・課外活動・就職活動など、学生生活に役立つ図書

3. 収集方法

- (1) 授業内容に関する図書

対象図書	選書者	方法	時期
履修要項指定図書	授業担当教員	履修要項に記載された図書を図書館が発注	年度始め
授業関連図書	授業担当教員	授業担当教員が授業で推奨する図書を図書館が発注	年度始め 都度
授業関連新刊図書	教職員	選書された図書の中から図書館が発注	年3回 (6・9・12月)

- (2) 教養を身につけるための図書／(3) 学生生活に役立つ図書

対象図書	選書者	方法	時期
学生の購入希望図書	学 生	購入希望図書申込・連絡票を提出、図書館長が認めた図書を図書館が発注	都度
選書ツアーの選定図書	学 生 教職員	店頭選書の選定基準を満たしている図書を図書館が発注	年2回 (春・夏休暇)
教職員の推薦図書	教職員	選書された図書の中から図書館が発注	年3回 (6・9・12月)

4. 収集における留意点

- (1) 共通ルール

- イ. 各専門分野の図書は、一般書・入門書を中心に収集する。
 - ロ. 授業内容に関する図書は、授業・ゼミのレポート・論文執筆において取り上げられるテーマについても広く収集する。
 - ハ. 原則として図書館で複本は収集しない。複本を必要とする場合は学科の予算で収集する。
- ニ. 同一テーマに関する新刊が多数ある場合は、蔵書構成を考慮し、冊数を絞って収集する。なお、貸出が多く見込まれるテーマに関する図書は、複数種類を収集する。

(2) 登録図書

- イ. 人生訓関係の図書は、学生にとって役立つものに限定し、冊数を絞って収集する。
- ロ. 地域、文化に関する資料は、国際比較できるように世界各国バランスよく収集する。但し、オーストラリア関係の資料は留学先であることを考慮し、重点的に収集する。
- ハ. 雇用、労働関係の図書は、女性の働き方・ワークライフバランスに関するものを重点的に収集する。
- ニ. 政治、経済に関する図書は、図解、ビジュアル版などを中心に入門的な図書を収集する。
- ホ. 社会問題に関する図書は、ゼミや授業のレポート課題で取り上げられるものを広く収集する。
- ヘ. 幼児教育関係の図書は、貸出が多く見込まれる実技書を重点的に収集する。
- ト. 授業の学習を補完する基本的な理論が学べる図書、ゼミや授業のレポート課題で取り上げられるテーマに関する図書は、幅広く収集する。
- チ. 医学・健康に関する図書は、医学的根拠が明確で、安全性の高いものを収集する。
- リ. 衣食住に関する図書は、授業内容を考慮し、実用書から比較的専門性の高い図書まで幅広く収集する。
- ヌ. ビジネス関係の図書は、会社経営に関するもの、特に実例が多く取り上げられている図書を重点的に収集する。なお、実用書は新入社員向け程度の内容に留める。
- ル. 美術書は、原則として大判の図集は収集せず、作品紹介・解説などの単行本に留める。
- ヲ. 写真集は、学生のリクエストに応じて、偏りのないように収集する。
- ワ. スポーツに関する図書は、レポート課題で取り上げられる機会が多いルールや解説書を中心に収集する。
- カ. 語学関係は、本学の開講科目の言語に絞って収集し、その他主要外国語については入門書程度とする。
- コ. 文学関係は、著名な作家の著作、文学賞を受賞した作品、学生に人気のある作家の著作の中で、一定の評価を得ている作品を収集する。一部の限られた利用者の個人的な関心で収集が偏らないように注意する。多巻ものの収集については、慎重に判断する。
- タ. 児童書は、乳幼児向けから小学校低学年向けの図書・絵本・紙芝居等とし、保育学科の教育・学習に資するものを中心に収集する。なお、ペーパーバック等の簡易な装丁の絵本は収集せず、ハードカバーを中心に収集する。

(3) 消耗図書

- イ. 旅行ガイドは、改訂頻度が高いため、3年程度で新版に更新する。
- ロ. 就職活動に関する図書は、シリーズで収集して1年で更新する。業界に関する図書は各分野バランスよく収集し、特に学生の就職率の高い産業に関しては重点的に収集する。
- ハ. コンピュータ関係など情報の陳腐化が特に早い分野に関しては、常に新刊をチェックして収集する。
- ニ. マンガは、授業内容に関連して教員から推薦があった場合のみ収集する。
- ホ. 資格試験の問題集については、資格試験奨励制度の対象になっているものを重点的に収集する。それ以外の資格については、学生のリクエストに応じて収集する。
- ヘ. 単行本で所蔵している図書の文庫版は原則として収集しない。
- ト. 継続購入契約による新書は定期的に見直し、それ以外の新書は必要に応じて収集する。

(4) 視聴覚資料

- イ. 音楽資料は、保育学科の教育・学習に資するものを中心に収集する。

ロ. 映像資料は、教材と映画の資料をバランスよく収集する。教材については、学習を支援するために役立つ資料を教員の推薦で収集する。映画の資料は、賞を受賞した作品や話題作、学生の要望を考慮して収集する。公序良俗に反するものは収集対象としない。テレビドラマ等のシリーズものは原則として収集しない。

(5) 逐次刊行物

イ. 学科の授業内容に関する学術雑誌は、1年ごとに学科で購読タイトルを検討し、学科の予算で定期購読により収集する。

ロ. 教養、学生生活のための一般雑誌は、学生にとって役立つと考えられるものに限定し、バランスよく収集する。1年ごとに図書館委員会で購読タイトルを検討し、図書館の予算で定期購読により収集する。

ハ. 新聞は、全国紙を中心に図書館の予算で定期購読により収集する。

ニ. 継続購入契約による年鑑・白書・法規集（追録）については、1年ごとに図書館委員会で購読タイトルを検討し、学科の授業内容に関するものは学科の予算で収集し、それ以外を図書館費で収集する。

5. 改廃

この選書基準の改廃は、図書館委員会の審議を経て図書館長が決定する。なお、図書館長は、改廃を決定したときは常勤理事会に報告しなければならない。

附則

この選書基準は、平成28年10月1日から施行する。